

1 つぎのお話をよんで、もんだいにこたえましょう。

ある日、そうたは学校のかえり道で、あたらしい建物がつくられているところを見ました。

まえばひろい空き地だったところに、大きなきかいやトラックがならんでいます。

「ここに何ができるのかな」と思い、そうたは立ちどまりました。

はじめは、じめんをほって、つよい土台をつくるしごとからはじまりました。

大きなきかいがうごき、土をはこぶたびに、まわりがすこしずつかわっていきます。

つぎに、つつのほねぐみがくみ立てられ、だんだん建物の形が見えてきました。

何日かたつと、かべやまどがつけられ、屋根ものせられました。

中では、でんきのせんや水のくだをつける人たちがはたらいています。

外でも、たくさんの人がきょう力して、しごとをつづけていました。

そうたが見るたびに、建物はすこしずつできあがっていきました。

やがて、まわりをそうじして、かんばんがつけられ、りっぱな建物になりました。

そうたは、「たくさんのおのしごとで、こんなふうにできるんだな」と思いました。

このように、建物は、土台づくりからはじまり、たくさんのおのしごとをへて、少しずつできあがっていくのです。

わたしたちのまちにある建物も、同じようにしてつくられているのです。



- (1) そうたは、はじめにそのばしよを見たとき、そこはどんなばしよでしたか。文の中から六文字でぬき出して書きましょう。

ひろい空き地

- (2) 建物ができるじゅんに①③を並べ替えてみましょう。
- ① かべやまど、屋根がつけられる。
 ② じめんをほって、土台をつくる。
 ③ つつのほねぐみがくみ立てられる。



- (3) さいごのだんらくにある「このように」とは、どのようなことをまとめていっていますか。いちばんたらしいものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 建物は、きかいのちからをつかって、短い時間でいっきにつくられるということ。
 ② 建物は、土台づくりからはじまり、ほねぐみ・かべ・中のしごとなどをへて、たくさんのおのしごとをへて、少しずつできあがっていきということ。
 ③ 建物は、外の形ができたあとに、中のしごとをすこしするだけでかんせいするということ。
 ④ 建物は、見るたびにすがたがかわるが、さいごはだれがつくったかはわからないということ。